

令和5年度

西海市公営企業会計
決算審査意見書

西海市監査委員



6 西海監第 21 号
令和 6 年 8 月 19 日

西海市長 杉澤 泰彦 様

西海市監査委員
西海市監査委員

井田 利定
杉山 誠治



令和 5 年度西海市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された下記公営企業会計
決算の審査を行ったので、その意見書を送付します。

記

1. 令和 5 年度西海市水道事業会計決算
2. 令和 5 年度西海市工業用水道事業会計決算
3. 令和 5 年度西海市下水道事業会計決算

目 次

	ページ
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1

水道事業会計

1. 業務実績について	2
2. 予算執行の状況について	3
3. 経営成績について	5
4. 財政状態について	9
5. むすび	11

工業用水道事業会計

1. 業務実績について	12
2. 予算執行の状況について	13
3. 経営成績について	15
4. 財政状態について	19
5. むすび	21

下水道事業会計

1. 業務実績について	21
2. 予算執行の状況について	22
3. 経営成績について	24
4. 財政状態について	28
5. むすび	29

※この決算審査意見書中の構成比率の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

令和5年度西海市公営企業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

令和5年度西海市水道事業会計決算
令和5年度西海市工業用水道事業会計決算
令和5年度西海市下水道事業会計決算

第2 審査の期間

令和6年7月17日～8月19日まで

第3 審査の方法

送付を受けた決算書類について、帳簿、証拠書類を照合し、関係書類の収集、関係職員に対する質問等、通常実施すべき審査手続きにより実施した。

第4 審査の結果

決算書、財務諸表及びその他の書類は、地方公営企業関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合して正確であり、令和5年度における経営成績及び当該年度末の財政状態は適正に表示されていると認めた。

審査の概要及び意見は、次に述べるとおりである。

水道事業会計

1. 業務実績について

給水状況は次表のとおりである。

給水状況

区 分	単 位	5 年 度 ①	4 年 度 ②	増 減 ①-②=③	増 減 率 (%) ③/②
給 水 人 口	人	24,808	25,143	△ 335	△ 1.33
給 水 戸 数	戸	12,283	12,148	135	1.11
配 水 量	m ³	3,966,364	3,970,750	△ 4,386	△ 0.11
有 収 水 量	m ³	2,655,773	2,728,508	△ 72,735	△ 2.67
有 収 率	%	66.96	68.72	△ 1.76	△ 2.56
1 日 平 均 配 水 量	m ³	10,837	10,879	△ 42	△ 0.38

給水人口は前年度と比較して 335 人（1.33%）減少し、給水戸数は 135 戸（1.11%）の増加となっている。

給配水の状況は、配水量が前年度比 4,386 m³（0.11%）の減少、有収水量が 72,735 m³（2.67%）の減少となっている。

平均有収率は 66.96%で前年度比 1.76 ポイントの低下となっている。

2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(1) 収益的収入・支出

収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
水道事業収益	896,571,000	924,180,049	27,609,049	103.1
営業収益	563,705,000	574,190,990	10,485,990	101.9
営業外収益	332,862,000	349,985,894	17,123,894	105.1
特別利益	4,000	3,165	△ 835	79.1

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
水道事業費用	1,085,847,000	950,657,017	10,934,000	124,255,983	87.5
営業費用	982,210,000	867,460,815	10,934,000	103,815,185	88.3
営業外費用	98,632,000	83,155,692	0	15,476,308	84.3
特別損失	505,000	40,510	0	464,490	8.0
予備費	4,500,000	0	0	4,500,000	0.0

(2) 給水収益及び未収金の状況

(単位：円・%)

区分		5年度				
		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現年度分	金 額	544,078,128	537,992,606	0	6,085,522	98.9
過年度分	金 額	17,138,722	8,353,309	0	8,785,413	48.7
合 計	金 額	561,216,850	546,345,915	0	14,870,935	97.4

※上水道課より提供。

給水収益の収入未済額は、現年度分 6,085,522 円、過年度分が 8,785,413 円で計 14,870,935 円となっている。

(3) 資本的収入・支出

資本的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的収入	809,606,000	498,304,300	△ 311,301,700	61.5
企業債	676,000,000	364,700,000	△ 311,300,000	53.9
負担金	1,071,000	1,070,300	△ 700	99.9
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0.0
他会計補助金	132,534,000	132,534,000	0	100.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	1,378,644,000	831,211,017	499,571,000	47,861,983	60.3
建設改良費	1,047,272,000	505,842,433	499,571,000	41,858,567	48.3
企業債償還金	325,371,000	325,368,584	0	2,416	100.0
予備費	6,000,000	0	0	6,000,000	0.0
その他資本的支出	1,000	0	0	1,000	0.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 332,906,717 円は、過年度分損益勘定留保資金 289,000,845 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 43,905,872 円で補填されている。

建設改良費の主な事業は、次のとおりである。

- ・ 大瀬戸西浜地区配水管布設替工事（2工区） 52,555,800 円
- ・ 大瀬戸西浜地区配水管布設替工事（1工区） 24,300,000 円
- ・ 大瀬戸西浜地区配水管布設替工事（3工区） 19,500,000 円
- ・ 大島蛤地区配水管布設替工事 18,000,000 円
- ・ 大島大橋送水管布設替工事（仮設送水管） 17,909,100 円

3. 経営成績について

令和5年度の経営状況は、総収益（水道事業収益）874,578,528 円、総費用（水道事業費用）914,653,728 円で、当年度純損失は、40,075,200 円となっている。

(1) 収 益

総収益（水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	5 年度		4 年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営業 収益	給水収益	494,752,789	56.6	651,003,791	74.0	△ 156,251,002	△ 24.0
	その他の営業収益	29,833,200	3.4	30,644,266	3.5	△ 811,066	△ 2.6
	小 計	524,585,989	60.0	681,648,057	77.5	△ 157,062,068	△ 23.0
営業外収益	349,989,562	40.0	198,211,085	22.5	151,778,477	76.6	
特別利益	2,977	0.0	0	0.0	2,977	皆増	
総 収 益	874,578,528	100.0	879,859,142	100.0	△ 5,280,614	△ 0.6	

営業収益は、前年度と比較し 157,062,068 円（23.0%）の減収となっている。

営業外収益は、前年度と比較して 151,778,477 円（76.6%）の増収となっている。これらの主な要因は、電力・ガス・食料品等価格高騰対策支援事業として、水道料金の減免（令和5年9月分から令和6年3月分まで）が行われ料金収入が減少したこと及び、他会計補助金収入が同対策分として増加したことによるものである。

(2) 費用

総費用（水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	5年度		4年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	111,953,771	12.2	115,208,558	12.5	△ 3,254,787	△ 2.8
	委託料	126,080,314	13.8	109,626,014	11.9	16,454,300	15.0
	修繕費	58,930,524	6.4	55,441,801	6.0	3,488,723	6.3
	動力費	66,380,036	7.3	82,809,339	9.0	△ 16,429,303	△ 19.8
	薬品費	8,925,164	1.0	7,093,609	0.8	1,831,555	25.8
	材料費	13,096,315	1.4	11,483,013	1.2	1,613,302	14.1
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	306,920	0.0	282,340	0.0	24,580	8.7
	減価償却費	402,672,736	44.0	407,926,071	44.3	△ 5,253,335	△ 1.3
	資産減耗費	11,265,309	1.2	12,873,572	1.4	△ 1,608,263	△ 12.5
	その他	36,874,377	4.0	35,501,106	3.9	1,373,271	3.9
	小 計	836,485,466	91.5	838,245,423	91.0	△ 1,759,957	△ 0.2
営 業 外 費 用	支払利息	59,969,597	6.6	63,316,737	6.9	△ 3,347,140	△ 5.3
	その他	18,161,795	2.0	19,819,768	2.2	△ 1,657,973	△ 8.4
	小 計	78,131,392	8.5	83,136,505	9.0	△ 5,005,113	△ 6.0
特 別 損 失	36,870	0.0	126,437	0.0	△ 89,567	△ 70.8	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	914,653,728	100.0	921,508,365	100.0	△ 6,854,637	△ 0.7	

営業費用は、前年度と比較し 1,759,957 円 (0.2%) の減少となっている。

営業外費用においては支払利息が主な支出であり、前年度と比較して 5,005,113 円 (6.0%) の減少となっている。

(3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

損益

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		5年度 ①	4年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②
経常 損益の 部	収益	524,585,989	681,648,057	△ 157,062,068	△ 23.0
	営業損益 費用	836,485,466	838,245,423	△ 1,759,957	△ 0.2
	営業利益	△ 311,899,477	△ 156,597,366	△ 155,302,111	△ 99.2
	収益	349,989,562	198,211,085	151,778,477	76.6
	営業外損益 費用	78,131,392	83,136,505	△ 5,005,113	△ 6.0
	営業外利益	271,858,170	115,074,580	156,783,590	136.2
経常利益		△ 40,041,307	△ 41,522,786	1,481,479	3.6
特別損益の部	利益	2,977	0	2,977	皆増
	損失	36,870	126,437	△ 89,567	△ 70.8
	特別利益	△ 33,893	△ 126,437	92,544	73.2
当年度純利益		△ 40,075,200	△ 41,649,223	1,574,023	3.8
前年度繰越利益剰余金		△ 524,358,343	△ 482,709,120	△ 41,649,223	△ 8.6
その他処分利益剰余金変動額		0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金		△ 564,433,543	△ 524,358,343	△ 40,075,200	△ 7.6

経常損益のうち営業利益は△311,899,477円で、前年度と比較し155,302,111円(99.2%)の減益となり、営業外利益は271,858,170円で、前年度と比較し156,783,590円(136.2%)の増益となっている。この結果、経常利益は△40,041,307円となっている。

また、当年度純利益は、△40,075,200円で、前年度繰越利益剰余金△524,358,343円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は△564,433,543円となっている。

(4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	5年度	4年度	備 考
総収支比率	95.62	95.48	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	95.62	95.49	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	62.71	81.32	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は95.62%（前年度比0.14ポイント増）、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は95.62%（前年度比0.13ポイント増）、事業の収益性を示す「営業収支比率」は62.71%（前年度比18.61ポイント減）となっている。

4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

財政状態

(単位：円・%)

区 分	5年度		4年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
固定資産	有形固定資産	7,747,172,456	84.3	7,698,771,303	84.5	48,401,153	0.6
	無形固定資産	13,746,895	0.1	14,149,532	0.2	△ 402,637	△ 2.8
	計	7,760,919,351	84.4	7,712,920,835	84.7	47,998,516	0.6
流動資産		1,433,361,309	15.6	1,396,757,544	15.3	36,603,765	2.6
資産合計		9,194,280,660	100.0	9,109,678,379	100.0	84,602,281	0.9
負債	固定負債	4,742,302,702	51.6	4,673,873,495	51.3	68,429,207	1.5
	流動負債	425,673,439	4.6	415,921,224	4.6	9,752,215	2.3
	繰延収益	2,947,135,786	32.1	2,441,348,959	26.8	505,786,827	20.7
負債合計		8,115,111,927	88.3	7,531,143,678	82.7	583,968,249	7.8
資本金		1,413,068,574	15.4	1,872,359,342	20.6	△ 459,290,768	△ 24.5
剰余金	資本剰余金	106,897,392	1.2	106,897,392	1.2	0	0.0
	利益剰余金	△ 440,797,233	△ 4.8	△ 400,722,033	△ 4.4	△ 40,075,200	△ 10.0
	計	△ 333,899,841	△ 3.6	△ 293,824,641	△ 3.2	△ 40,075,200	△ 13.6
資本合計		1,079,168,733	11.7	1,578,534,701	17.3	△ 499,365,968	△ 31.6
負債・資本合計		9,194,280,660	100.0	9,109,678,379	100.0	84,602,281	0.9

(1) 資産

「固定資産」は前年度に比べ 47,998,516 円 (0.6%) 増加している。これは主に、有形固定資産の増によるものである。

「流動資産」は前年度に比べ 36,603,765 円 (2.6%) 増加している。

(2) 負債及び資本

負債

「固定負債」が前年度に比べ 68,429,207 円 (1.5%) 増加している。また、「流動負債」は前年度に比べ 9,752,215 円 (2.3%) 増加している。「繰延収益」は前年度に比べ 505,786,827 円 (20.7%) 増加している。これらにより、負債合計が前年度に比べ 583,968,249 円 (7.8%) 増加している。

資本

「資本金」は 1,413,068,574 円で、前年度に比べ 459,290,768 円 (24.5%) 減少している。また、剰余金合計が△333,899,841 円、資本合計が 1,079,168,733 円となっている。

5. むすび

以上が、令和5年度西海市水道事業について審査した概要である。

本市の水道事業は、令和2年度より離島を含めた全ての簡易水道事業との統合が完了した。

経営成績については、営業利益が△311,899,477円、当年度純利益が△40,075,200円となった。

営業収益に対する固定資産減価償却費の割合が76.76%となっており、利益が出にくい財務体質となっている。

キャッシュフローは投資活動がマイナスになっているが、業務活動、財務活動がプラスであるため企業経営上問題はないものの、引き続き施設の統廃合や、不要施設の除却等を進め、固定資産の圧縮を図ることが重要である。

また、経営改善には有収率の向上が不可欠であり、令和4年度の本市水道事業の有収率は68.72%で、令和5年度における有収率は2.56ポイント減少し66.96%となっている。統合整備事業と並行して、引き続き老朽管の更新や漏水防止対策などの施設の適正な維持管理を図ることにより有収率を高め、将来の経営を見通した健全な事業運営に努められたい。

今後さらに、老朽化対策や施設改修などのインフラ整備が見込まれる中、難しい事業運営が求められていると言える。

事業統合によるプラスの効果を最大限に高めつつ、長期的な視点に立って、資産の効率的な運用、財源確保に努め、今後も市民生活に欠かすことの出来ない水の安定供給を図られたい。

工業用水道事業会計

1. 業務実績について

給水状況は次表のとおりである。

区 分	単位	5 年度 ①	4 年度 ②	増減 ①-②=③	増減率(%) ③/②
給水企業	社	1	1	0	0.00
配水量	m ³	1,256,503	1,444,541	△ 188,038	△ 13.02
有収水量	m ³	1,234,937	1,442,645	△ 207,708	△ 14.40
有収率	%	98.28	99.87	△ 1.59	△ 1.59
1 日平均配水量	m ³	3,442	3,958	△ 516	△ 13.04

給水企業は、電源開発株式会社松島火力発電所 1 社である。

給配水の状況は、配水量で前年度比 188,038 m³ (13.02%) の減少、有収水量で 207,708 m³ (14.40%) の減少となっている。また、1 日平均配水量は前年度比 516 m³ (13.04%) の減少となっている。

なお、有収水量は年間 1,234,937 m³ で 98.28% の有収率となっている。

2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(1) 収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
工業用水道事業収益	101,296,000	101,525,220	229,220	100.2
営業収益	84,316,000	84,546,000	230,000	100.3
営業外収益	16,980,000	16,979,220	△ 780	100.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	不用額 ①-②	執行率 ②/①
工業用水道事業費用	131,226,000	103,866,443	27,359,557	79.2
営業費用	123,132,000	98,085,996	25,046,004	79.7
営業外費用	6,093,000	5,780,447	312,553	94.9
特別損失	1,000	0	1,000	0.0
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0

(2) 未収金の状況

当年度末未収金はない。

(3) 資本的收入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的收入	3,000	0	△ 3,000	0.0
企業債	1,000	0	△ 1,000	0.0
負担金	1,000	0	△ 1,000	0.0
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	14,207,000	11,119,599	0	3,087,401	78.3
建設改良費	2,031,000	943,800	0	1,087,200	46.5
企業債償還金	10,176,000	10,175,799	0	201	100.0
予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0

資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額 11,119,599 円は、過年度分損益勘定留保資金 11,033,799 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 85,800 円で補填されている。

3. 経営成績について

令和5年度の経営状況は、総収益（工業用水道事業収益）93,839,710円、総費用（工業用水道事業費用）96,266,733円で当年度純利益△2,427,023円となっている。

(1) 収 益

総収益（工業用水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	5年度		4年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営業 収益	給水収益	76,860,000	81.9	76,650,000	81.7	210,000	0.3
	その他の営業収益	0	0.0	0	0.0	0	-
	小 計	76,860,000	81.9	76,650,000	81.7	210,000	0.3
営業外収益		16,979,710	18.1	17,173,927	18.3	△ 194,217	△ 1.1
特 別 利 益		0	0.0	0	0.0	0	-
総 収 益		93,839,710	100.0	93,823,927	100.0	15,783	0.0

営業収益においては、給水収益は5,000 m³/日の契約水量による水道使用料の収入で前年度と比較して210,000円（0.3%）増加している。

(2) 費用

総費用（工業用水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	5 年度		4 年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	3,854,091	4.0	3,515,606	3.5	338,485	9.6
	委託料	28,171,700	29.3	26,851,480	26.7	1,320,220	4.9
	修繕費	1,456,320	1.5	1,137,670	1.1	318,650	28.0
	動力費	16,766,043	17.4	22,915,308	22.8	△ 6,149,265	△ 26.8
	薬品費	1,951,096	2.0	1,720,643	1.7	230,453	13.4
	材料費	322,220	0.3	45,000	0.0	277,220	616.0
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	85,600	0.1	71,300	0.1	14,300	20.1
	減価償却費	39,537,433	41.1	40,150,105	39.9	△ 612,672	△ 1.5
	資産減耗費	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	990,883	1.0	836,909	0.8	153,974	18.4
小 計	93,135,386	96.8	97,244,021	96.7	△ 4,108,635	△ 4.2	
営 業 外 費 用	支払利息	3,131,347	3.3	3,328,257	3.3	△ 196,910	△ 5.9
	その他	0	0.0	0	0.0	0	-
	小 計	3,131,347	3.3	3,328,257	3.3	△ 196,910	△ 5.9
特 別 損 益	0	0.0	0	0.0	0	-	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	96,266,733	100.0	100,572,278	100.0	△ 4,305,545	△ 4.3	

営業費用においては、前年度と比較し 4,108,635 円 (4.2%) の減少となっている。

営業外費用においては、前年度と比較し 196,910 円 (5.9%) の減少となっている。

(3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

(単位：円 ・ % 消費税抜)

区 分		5年度 ①	4年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②	
経常損益の部	営業損益	収益	76,860,000	76,650,000	210,000	0.3
		費用	93,135,386	97,244,021	△ 4,108,635	△ 4.2
		営業利益	△ 16,275,386	△ 20,594,021	4,318,635	21.0
	営業外損益	収益	16,979,710	17,173,927	△ 194,217	△ 1.1
		費用	3,131,347	3,328,257	△ 196,910	△ 5.9
		営業外利益	13,848,363	13,845,670	2,693	0.0
経常利益		△ 2,427,023	△ 6,748,351	4,321,328	64.0	
特別損益の部	利益	0	0	0	-	
	損失	0	0	0	-	
	特別利益	0	0	0	-	
当年度純利益		△ 2,427,023	△ 6,748,351	4,321,328	64.0	
前年度繰越利益剰余金		△ 46,394,004	△ 39,645,653	△ 6,748,351	△ 17.0	
当年度未処分利益剰余金		△ 48,821,027	△ 46,394,004	△ 2,427,023	△ 5.2	

経常損益のうち営業利益は△16,275,386円で、前年度と比較し4,318,635円(21.0%)の増益となり、営業外利益は13,848,363円で、前年度と比較し2,693円(0.1%未満)の増益となっている。この結果、経常利益は△2,427,023円となっている。

また、当年度純利益は、△2,427,023円で、前年度繰越利益剰余金△46,394,004円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は△48,821,027円となっている。

(4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	5 年度	4 年度	備 考
総収支比率	97.48	93.29	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	97.48	93.29	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	82.53	78.82	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は、97.48%（前年度比 4.19 ポイント増）、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は 97.48%（前年度比 4.19 ポイント増）、「営業収支比率」は 82.53%（3.71 ポイント増）で、いずれも前年度の数値を上回っている。

4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	5年度		4年度		前年度比較		
	金額 ①	構成 比率	金額 ②	構成 比率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
固定 資産	有形固定資産	678,760,514	69.5	717,439,947	71.6	△ 38,679,433	△ 5.4
	無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	678,760,514	69.5	717,439,947	71.6	△ 38,679,433	△ 5.4
流動資産		297,685,634	30.5	284,812,680	28.4	12,872,954	4.5
資産合計		976,446,148	100.0	1,002,252,627	100.0	△ 25,806,479	△ 2.6
負 債	固定負債	140,674,094	14.4	151,050,695	15.1	△ 10,376,601	△ 6.9
	流動負債	22,372,121	2.3	18,518,615	1.8	3,853,506	20.8
	繰延収益	374,256,575	38.3	391,112,936	39.0	△ 16,856,361	△ 4.3
	負債合計	537,302,790	55.0	560,682,246	55.9	△ 23,379,456	△ 4.2
資本金		386,724,380	39.6	386,724,380	38.6	0	0.0
剰 余 金	資本剰余金	39,726,385	4.1	39,726,385	4.0	0	0.0
	利益剰余金	12,692,593	1.3	15,119,616	1.5	△ 2,427,023	△ 16.1
	計	52,418,978	5.4	54,846,001	5.5	△ 2,427,023	△ 4.4
資本合計		439,143,358	45.0	441,570,381	44.1	△ 2,427,023	△ 0.6
負債・資本合計		976,446,148	100.0	1,002,252,627	100.0	△ 25,806,479	△ 2.6

(1) 資産

「固定資産」は、前年度と比較し 38,679,433 円 (5.4%) 減少している。また、「流動資産」は、前年度と比較し 12,872,954 円 (4.5%) 増加している。

(2) 負債及び資本

「固定負債」が、前年度に比べ 10,376,601 円 (6.9%) 減少している。

「資本金」は前年度と同額の 386,724,380 円で、剰余金合計が 52,418,978 円、資本合計が 439,143,358 円となっている。

5. むすび

以上が、令和5年度西海市工業用水道事業について審査した概要である。

水道使用料については、契約水量（日量 5,000 m³）のため安定した給水収益となっている。

有収率は前年度より 1.59 ポイント減少して 98.28%となっており、今後もさらなる適正な施設管理を期待する。

営業収益は 76,860,000 円で、前年度と比較して 210,000 円（0.3%）の増加となっている。

営業外収益を含めた総収益は 93,839,710 円で、前年度と比較して 15,783 円（0.1%未満）の増加となっている。

営業費用は 93,135,386 円で、前年度と比較して 4,108,635 円（4.2%）の減少となっている。

経営分析においては、総収支比率が 97.48%、経常収支比率が 97.48%、営業収支比率が 82.53%といずれも前年度の数値を上回っている。

また、当年度純利益は△2,427,023 円となっている。

当面は経営上の大きな問題はないと言えるが、委託料や修繕費等の経常的な費用の増加が損益悪化の原因となるため、今後の更なるコスト削減の取り組みが必要となろう。

今後も引き続き計画的な施設の維持管理と運営に努められたい。

下水道事業会計

1. 業務実績について

処理状況は次表のとおりである。

処理状況

区 分	単位	5年度 ①	4年度 ②	増減 ①-②=③	増減率(%) ③/②
処理区域内人口	人	25,285	25,620	△ 335	△ 1.31
水洗化人口	人	19,712	19,795	△ 83	△ 0.42
水洗化率	%	77.96	77.26	0.70	0.91
汚水処理水量	m ³	1,225,927	1,218,420	7,507	0.62
有収水量	m ³	1,225,927	1,218,420	7,507	0.62
有収率	%	100.00	100.00	0.00	0.00
1日平均処理量	m ³	3,359	3,338	21	0.62

水洗化人口は 19,712 人で水洗化率は 77.96%となっている。

有収水量は 1,225,927 m³で有収率は 100%となっている。

1日平均処理量は 3,359 m³となっている。

2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(1) 収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
下水道事業収益	1,108,785,000	1,113,102,982	4,317,982	100.4
営業収益	220,104,000	216,603,194	△ 3,500,806	98.4
営業外収益	888,680,000	896,306,413	7,626,413	100.9
特別利益	1,000	193,375	192,375	19,337.5

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
下水道事業費用	1,172,660,000	1,053,090,463	0	119,569,537	89.8
営業費用	1,058,918,000	984,933,508	0	73,984,492	93.0
営業外費用	108,492,000	68,124,316	0	40,367,684	62.8
特別損失	250,000	32,639	0	217,361	13.1
予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.0

(2) 下水道使用料及び未収金の状況

(単位：円・% 税込)

区分		5年度				
		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現年度分	金 額	216,404,894	214,025,465	0	2,379,429	98.9
過年度分	金 額	3,006,787	2,041,182	7,900	957,705	67.9
合 計	金 額	219,411,681	216,066,647	7,900	3,337,134	98.5

※下水道課より提供。

下水道使用料の収入未済額は、現年度分 2,379,429 円、過年度分が 957,705 円で計 3,337,134 円となっている。

(3) 資本的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的収入	930,727,000	693,074,000	△ 237,653,000	74.5
企業債	456,700,000	255,900,000	△ 200,800,000	56.0
他会計出資金	260,408,000	260,408,000	0	100.0
補助金	207,419,000	171,466,000	△ 35,953,000	82.7
分担金	6,200,000	5,300,000	△ 900,000	85.5

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	1,172,908,000	891,964,083	217,900,000	63,043,917	76.0
建設改良費	696,043,000	415,102,756	217,900,000	63,040,244	59.6
企業債償還金	476,865,000	476,861,327	0	3,673	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 218,790,083 円（翌年度財源充当額 19,900,000 円を除く）は、過年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 6,056,203 円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,112,481 円、繰越工事資金 1,884,000 円、過年度分損益勘定留保資金 89,505,987 円、当年度分損益勘定留保資金 116,231,412 円で補填されている。

建設改良費の主な事業は、次のとおりである。

- ・真砂地域下水処理施設建設工事（建築）（繰越） 148,638,600 円
- ・真砂地域下水処理施設建設工事（機械・電気） 59,100,000 円
- ・令和5年度徳万地区管路施設1工区工事 37,264,700 円
- ・令和4年度瀬戸処理区管渠施設51工区工事（繰越） 25,454,100 円
- ・令和5年度瀬戸処理区舗装復旧工事 17,607,700 円
- ・令和5年度大串処理区マンホールポンプ施設17工区工事 17,064,300 円

3. 経営成績について

令和5年度の経営状況は、総収益（下水道事業収益）1,076,214,875円、総費用（下水道事業費用）1,036,021,552円で、当年度純利益は、40,193,323円となっている。

(1) 収 益

総収益（下水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		5年度		4年度		前年度比較	
		金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②
営業 収益	下水道使用料	196,731,719	18.3	196,675,393	17.3	56,326	0.0
	その他の営業収益	198,300	0.0	232,000	0.0	△ 33,700	△ 14.5
	小 計	196,930,019	18.3	196,907,393	17.4	22,626	0.0
営業外収益		879,108,036	81.7	937,677,258	82.6	△ 58,569,222	△ 6.2
特 別 利 益		176,820	0.0	0	0.0	176,820	0.0
総 収 益		1,076,214,875	100.0	1,134,584,651	100.0	△ 58,369,776	△ 5.1

営業収益は196,930,019円となっている。

営業外収益は879,108,036円となっている。

(2) 費用

総費用（下水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		5年度		4年度		前年度比較	
		金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②
営 業 費 用	人件費	59,015,160	5.7	74,484,992	6.7	△ 15,469,832	△ 20.8
	委託料	176,964,912	17.1	182,927,360	16.5	△ 5,962,448	△ 3.3
	修繕費	27,161,881	2.6	35,436,821	3.2	△ 8,274,940	△ 23.4
	動力費	53,188,448	5.1	63,822,949	5.8	△ 10,634,501	△ 16.7
	薬品費	2,741,890	0.3	2,573,200	0.2	168,690	6.6
	材料費	0	0.0	13,927	0.0	△ 13,927	-
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	8,279,293	0.8	25,153,155	2.3	△ 16,873,862	△ 67.1
	減価償却費	603,144,903	58.2	624,476,621	56.3	△ 21,331,718	△ 3.4
	資産減耗費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	27,152,610	2.6	17,407,047	1.6	9,745,563	56.0
	小 計	957,649,097	92.4	1,026,296,072	92.5	△ 68,646,975	△ 6.7
営 業 外 費 用	支払利息	62,403,446	6.0	69,113,815	6.2	△ 6,710,369	△ 9.7
	その他	15,936,370	1.5	14,349,577	1.3	1,586,793	11.1
	小 計	78,339,816	7.6	83,463,392	7.5	△ 5,123,576	△ 6.1
特 別 損 失		32,639	0.0	0	0.0	32,639	0.0
予 備 費		0	0.0	0	0.0	0	-
総 費 用		1,036,021,552	100.0	1,109,759,464	100.0	△ 73,737,912	△ 6.6

営業費用は 957,649,097 円となっている。

営業外費用は 78,339,816 円となっている。

(3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		5年度 ①	4年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②	
経常損益の部	営業損益	収益	196,930,019	196,907,393	22,626	0.0
		費用	957,649,097	1,026,296,072	△ 68,646,975	△ 6.7
		営業利益	△ 760,719,078	△ 829,388,679	68,669,601	8.3
	営業外損益	収益	879,108,036	937,677,258	△ 58,569,222	△ 6.2
		費用	78,339,816	83,463,392	△ 5,123,576	△ 6.1
		営業外利益	800,768,220	854,213,866	△ 53,445,646	△ 6.3
経常利益		40,049,142	24,825,187	15,223,955	61.3	
特別損益の部	利益	176,820	0	176,820	-	
	損失	32,639	0	32,639	0.0	
	特別利益	144,181	0	144,181	-	
当年度純利益		40,193,323	24,825,187	15,368,136	61.9	
前年度繰越利益剰余金		△ 95,850,244	△ 120,675,431	24,825,187	20.6	
その他処分利益剰余金変動額		0	0	0	-	
当年度未処分利益剰余金		△ 55,656,921	△ 95,850,244	40,193,323	41.9	

経常損益のうち営業利益は△760,719,078円で、営業外利益は800,768,220円となっており、経常利益は40,049,142円となっている。

当年度純利益は40,193,323円で、前年度繰越利益剰余金△95,850,244円と合わせた当年度未処分利益剰余金は△55,656,921円となっている。

(4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	5年度	4年度	備 考
総収支比率	103.88	102.24	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	103.87	102.24	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	20.56	19.19	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は103.88%、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は103.87%、事業の収益性を示す「営業収支比率」は20.56%となっている。

4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	5年度		4年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
固定資産	有形固定資産	14,728,397,896	94.9	14,951,897,458	95.6	△ 223,499,562	△ 1.5
	無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	14,728,397,896	94.9	14,951,897,458	95.6	△ 223,499,562	△ 1.5
流動資産		785,093,761	5.1	686,882,728	4.4	98,211,033	14.3
資産合計		15,513,491,657	100.0	15,638,780,186	100.0	△ 125,288,529	△ 0.8
負債	固定負債	3,831,919,339	24.7	4,061,494,797	26.0	△ 229,575,458	△ 5.7
	流動負債	709,189,862	4.6	716,009,247	4.6	△ 6,819,385	△ 1.0
	繰延収益	8,196,581,945	52.8	8,386,076,954	53.6	△ 189,495,009	△ 2.3
	負債合計	12,737,691,146	82.1	13,163,580,998	84.2	△ 425,889,852	△ 3.2
資本金		2,714,117,666	17.5	2,453,709,666	15.7	260,408,000	10.6
剰余金	資本剰余金	117,339,766	0.8	117,339,766	0.8	0	0.0
	利益剰余金	△ 55,656,921	△ 0.4	△ 95,850,244	△ 0.6	40,193,323	41.9
	計	61,682,845	0.4	21,489,522	0.1	40,193,323	△ 187.0
資本合計		2,775,800,511	17.9	2,475,199,188	15.8	300,601,323	12.1
負債・資本合計		15,513,491,657	100.0	15,638,780,186	100.0	△ 125,288,529	△ 0.8

(1) 資産

「固定資産」は14,728,397,896円、「流動資産」は785,093,761円で「資産合計」は15,513,491,657円となっている。

(2) 負債及び資本

負債

「固定負債」は3,831,919,339円、「流動負債」は709,189,862円、「繰延収益」は8,196,581,945円で「負債合計」は12,737,691,146円となっている。

資本

「資本金」は2,714,117,666円、「剰余金」は61,682,845円で「資本合計」が2,775,800,511円となっている。

5. むすび

以上が、令和5年度西海市下水道事業について審査した概要である。

本市の下水道事業は、令和2年4月1日より地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行している。

経営成績についてみると、営業収益が196,930,019円、営業外収益が879,108,036円、営業費用が957,649,097円、営業外費用が78,339,816円、当年度純利益が40,193,323円となっている。

キャッシュフローは投資活動がマイナスになっているが、業務活動、財務活動がプラスになっており、企業経営上は資金的にも問題ないと言えるが、施設の統廃合や、不要施設の除却等を進め、固定資産の圧縮を図ることが重要である。

また、老朽管の更新や施設改修などのインフラ整備により適正な施設維持管理を図り、将来を見通した健全な事業運営が求められている。

今後も市民生活に欠かすことの出来ない下水処理事業の安定運営に努められたい。

